

07年日本平和大会 in 沖縄ニュース 10月23日 NO.6

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 日本平和委員会気付

TEL 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277 E-mail: info@j-peace.org

体感・実感

青年・学生のみなさん

平和大会 in 沖縄へ 全国から参加しましょう

日本民主青年同盟中央委員 大平 喜信

今年の「2007年日本平和大会 in 沖縄」は、例年の米軍基地や軍事同盟の現状やたたかひの展望について学び、全国の仲間と交流できる魅力にくわえて、高江連帯行動や名護での「人間の鎖」行動など、「現場のたたかひに直接参加できる」企画も準備されています。これからの平和運動を担っていく青年が、頭の中でも、また体感・実感としても「参加してよかった」と思え、大きく成長できる可能性に満ちた絶好の機会となります。

会場となる沖縄では、いま、沖縄戦「集団自決」の教科書検定問題が熱い焦点となっています。「女房やわが子に手をかける」...想像しただけで胸がしめつけられます。それをあたかも住民が自発的に行ったかのように描くとは、これほどひどい歴史の書き換えがあるでしょうか。

沖縄では、県民あげて「真実を回復してほしい」と声をあげました。そのうねりが政府をおいつめています。「たとえ醜くても真実を知りたい、学びたい、そして伝えたい」。県民集会で高校生代表がこう発言しました。その思いは多くの青年が共有できるはずです。悲劇を消してはいけない、学び語っていかねばいけません。私はそう強く思いました。

青年・学生の皆さん。この沖縄のたたかひにも連帯し、米軍基地も軍事同盟もない日本をつくるために、ぜひ全国から日本平和大会に参加されることを心からよびかけます。

都道府県の取り組み 各地で実行委員会

実行委員会としての取り組みスタート 和歌山

和歌山県ではこれまで実行委員会を結成しないで日本平和大会に参加してきましたが、今年は各団体よびかけ、大会の意義や魅力も討議して参加を広げる契機にしようとして実行委員会の結成が呼びかけられました。15日の実行委員会には、残念ながら事前の参加確認より少ない3団体の出席にとどまりましたが、高江のヘリパッド建設に反対する地元のたたかひを写したDVDも見ました。出席団体はそれぞれ代表を出すことを決めており、欠席団体へ参加を呼びかけることを確認しました。第2回実行委員会を開催し、今後の実行委員会の位置づけについても鮮明にして取り組みをすすめていく予定です。

自衛隊の危険な動きを許さない世論広げる契機に 三重

三重県では17日に実行委員会が開催されました。鈴鹿や伊賀の地域や被爆者の方も含む10人が出席。昨年の岩国大会を上回る参加をと話し合いました。

三重県には陸上自衛隊の駐屯地が2つあり、津市の久居には普通科連隊がありますが、市街地の行軍が頻繁に行われるようになり、熊野まで往復3日間を水筒のみで食料は自分で手に入れさせる訓練も行われています。白山には09年にPAC3が配備されようとしています。実行委員会では、平和大会で全国の取り組みに学び、自衛隊の危険な動きを知らせる運動の発展の契機にしようとして話し合っています。

第5回実行委員会 10月25日(木)14:00～ 於:日本平和委員会